



## 令和6年度小牧基地総合防災訓練



小牧基地は、10月23日（水）に「令和6年度小牧基地総合防災訓練」を実施しました。

この日は、緊急登庁訓練（徒歩登庁）、緊急登庁支援訓練、人命救助システムの運用訓練、非常用給水装置による給水訓練及び移動電源車による連続給電訓練を実施しました。

緊急登庁訓練（徒歩登庁）は、朝からあいにくの雨でしたが、地震発生時刻（想定）5：30以降、徒歩により緊急登庁を実施しました。この訓練の前に、居住地域及び通勤経路のハザードマップを確認し、登庁経路の考察なども行いました。

緊急登庁支援訓練では、隊員の子供を受け入れるために、基地業務群を中心に、各所在部隊の隊員も参加し、会場の設営及び運営を実施しました。子供たちを預かった時には、様子をよく確認するとともに、子供たちが安心して過ごせる雰囲気を作るよう隊員も頑張りました。

人命救助システムの運用訓練では、人命救助システムの操作要領の確認及び運用訓練を実施しました。運用訓練では、実際にエンジン・カッターやドリルを使用して、廃材の切断等を行い、操作要領を習得しました。

非常用給水装置による給水訓練及び移動電源車による連続給電訓練では、移動電源車により給電された非常用給水装置を用いて水のろ過を行いました。

今回の訓練では、訓練参加者以外の隊員も訓練を見学することができ、様々な装備品を確認することができ、防災意識の向上につながりました。もちろん、災害が起きないことが一番ではありますが、日ごろからこのような訓練を実施することで、小牧基地の隊員は不測事態への対応能力を向上させています。



## 整備補給群准曹士先任交代行事



10月1日（火）、整備補給群は1輸空隊准曹士先任及び米空軍横田基地第374整備群最先任上級曹長の臨席のもと、整備補給群准曹士先任交代式典を行いました。

式典においては、整備補給群所属隊員が見守る中、整備補給群司令が新群准曹士先任を指名し、准曹士先任識別章を原田准尉から増田准尉へと引き継ぎ、それぞれが離任、着任のスピーチを行いました。

式典後は、最先任上級曹長以下4名の米空軍隊員との懇談や職場見学、会食を通じ、隊員の服務指導状況や勤務環境、整備に関わる意見交換等を行うなど、日米相互の理解、日米交流の促進、先任業務の資とすることができました。

整備補給群は今後も准曹士レベルにおいて様々な交流機会を活化させ日米相互の理解と信頼を醸成するとともに、同種の輸送機部隊ハーキュリーズファミリー（C-130ユーザー）として良好な関係を構築していきます。

最後に、群准曹士先任を離任した原田准尉は、約3年に渡り群司令の指揮を的確に補佐し、厳しさの中にも愛情ある指導で後輩隊員の育成に尽力されるとともに、巧みな話術と行動力をもって准曹士隊員の身上（心情）把握を適切に行い、整備補給群の任務遂行及び数多の変革に多大なる貢献をされました。今後は、第2の人生に向けた準備に入られます。

整備補給群准曹士先任



## 航空自衛隊70周年記念ロゴマークステッカー貼付



小牧山愛読者の皆様こんにちは。この度、航空自衛隊創立70周年に際しまして第1輸送航空隊所属のC-130Hにロゴマークステッカーを貼付しました。

ステッカーは誰もが貼ったことがあると思いますが、これを航空機に貼るには匠の技が必要です。航空機の胴体は空気抵抗を軽減するため滑らかに湾曲しています。その湾曲面に大きなステッカーを貼り付けるには、まず機体の表面を綺麗に清掃脱脂し、シワを伸ばしながら気泡を作らないよう慎重に貼り付けていく必要があります。少しづつ丁寧に、妥協は許されません。とても神経を使う作業です。そんな匠の技で貼り付けられた70周年記念ロゴマークステッカーを付けた3機のC-130Hが全国の空を飛びます。

ぜひ大空を見上げて探してみてくださいね。来年3月2日の航空祭でも見れるかもしれません。

第1輸送航空隊 整備補給群 整備隊  
2等空曹 高西雅裕